

平成24年度病害虫発生予報第8号(11月予報)

今月のトピックス

ハンエンカタカイガラムシ (かんきつ)

学名 : *Saissetia coffeae*



成熟成虫



シークワサーに寄生する成虫



「工」字型隆起線

未成熟成虫



幼虫

生態と被害

ハンエンカタカイガラムシはカメムシ目カタカイガラムシ科に属しており、世界でも重要な農作物の害虫として知られている。雌成虫は体長2.5~3.5mm、広楕円形。未成熟成虫は淡褐~赤褐色で扁平で、背面に「工」字型隆起線を呈し、光沢があることで他種と区別できる。成熟すると背面は半球状に著しく隆起しながら硬化し、光沢のある黄褐~茶褐色を呈する。背面を隆起させると共に腹部に空間を作り数百卵産下し、卵を保護する。雄はみられず単為生殖を行う。本種は細枝、葉面、果梗に寄生し、発生が多いと生育が阻害され、落葉したり、枯死枝を生じる。特に多発すると分泌物や併発するすす病によって果実が汚れる2次の被害が生じ、甚大な被害をもたらす。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/index.html>